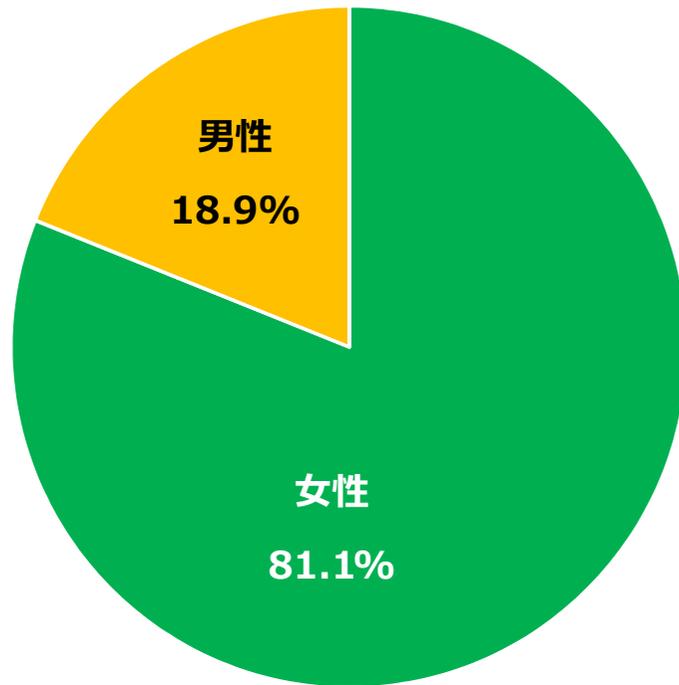




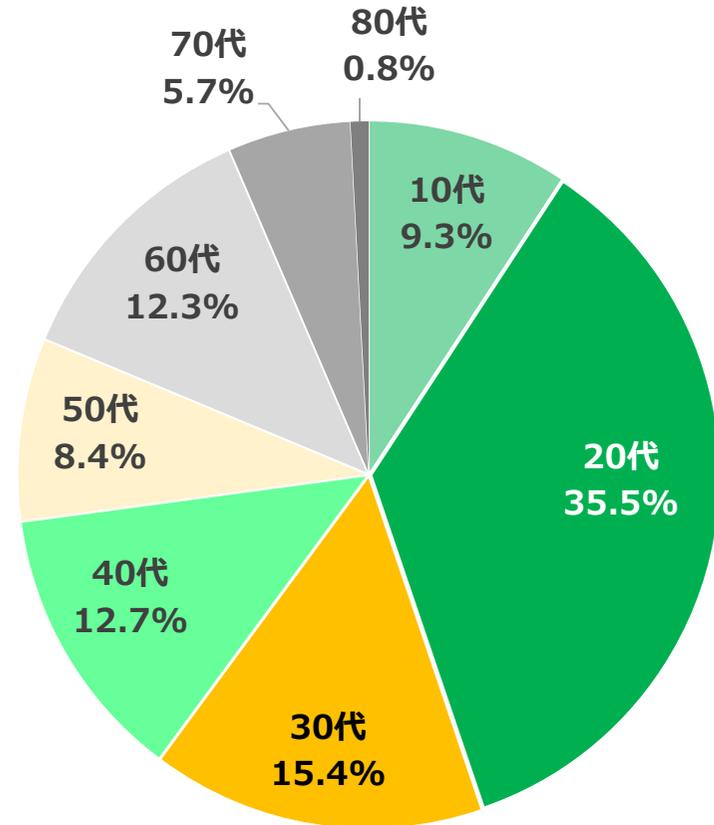
**日本財団ウクライナ避難民支援  
アンケート結果**

## 男女比

※アンケート回答者の男女比。日本財団の支援対象者の男女比は男性：25%、女性75%

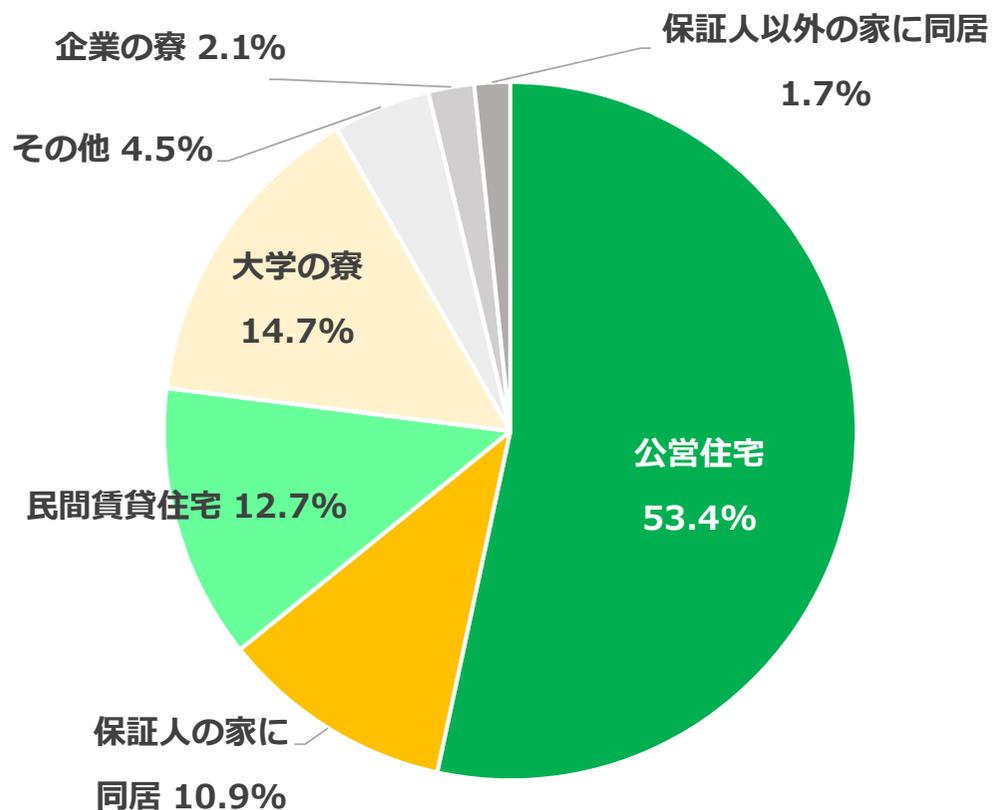


## 年代

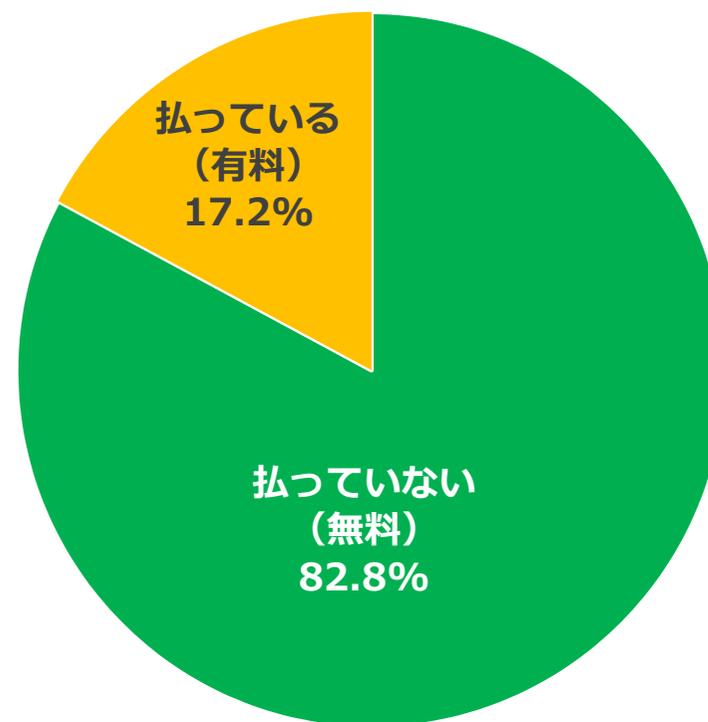


アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## どのような家に住んでいるか

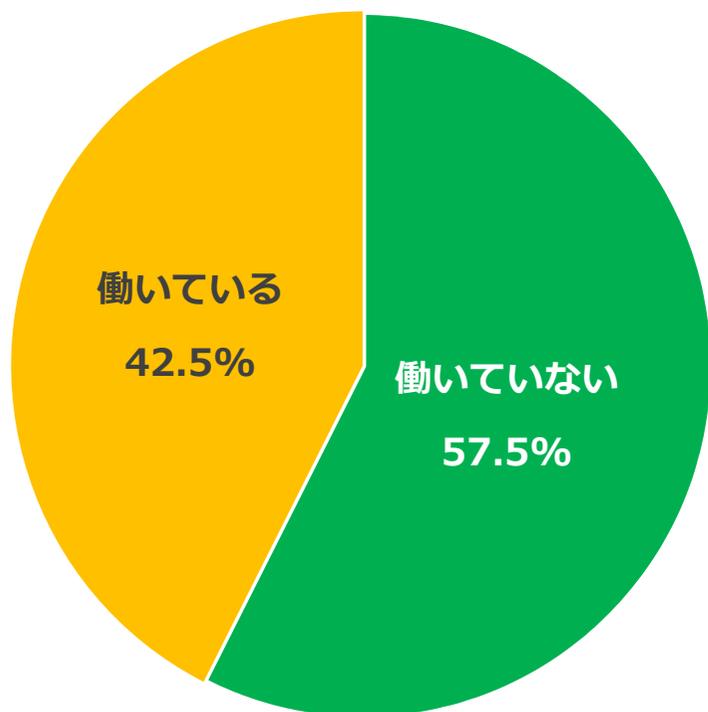


## 家賃を払っているか

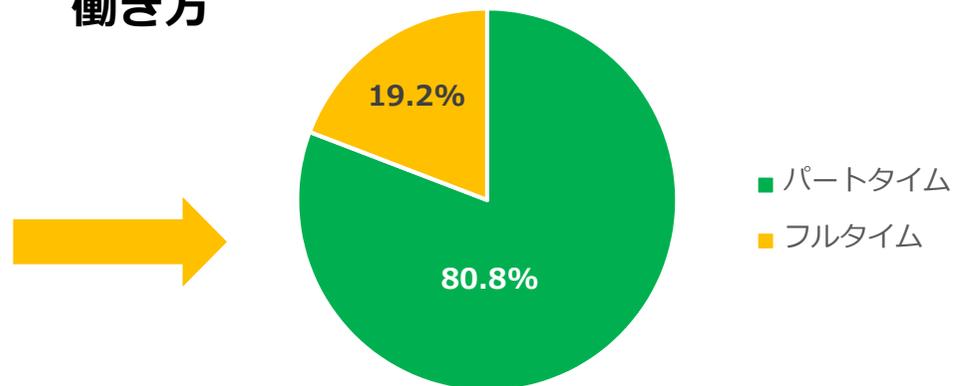


アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

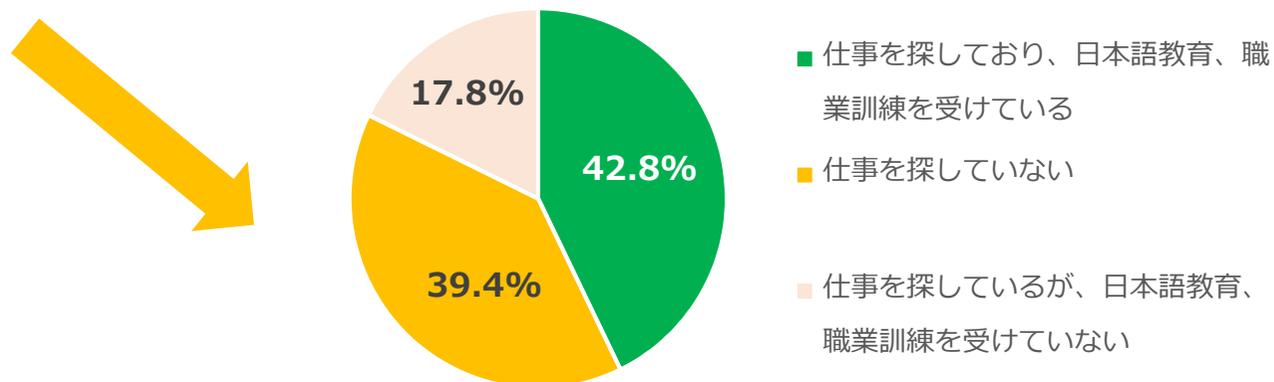
### 働いているか



### 働き方

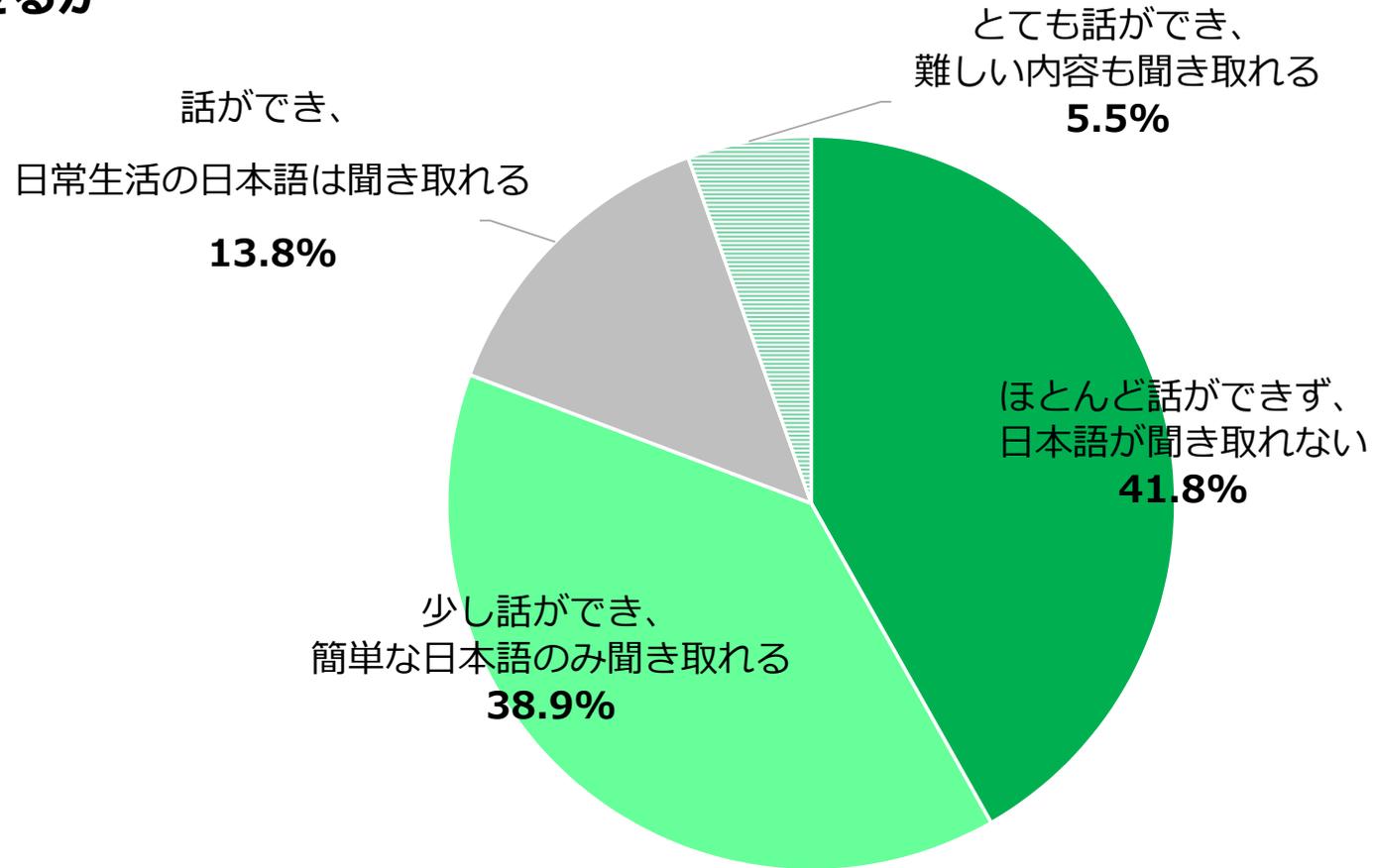


### 働いていない場合の状況



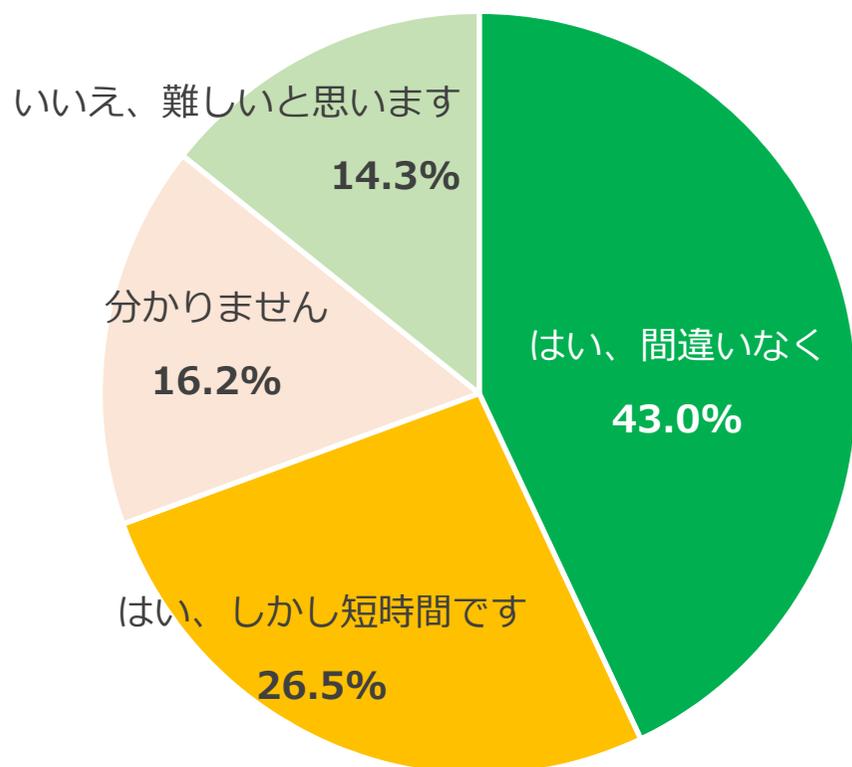
アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## 日本語が話せるか

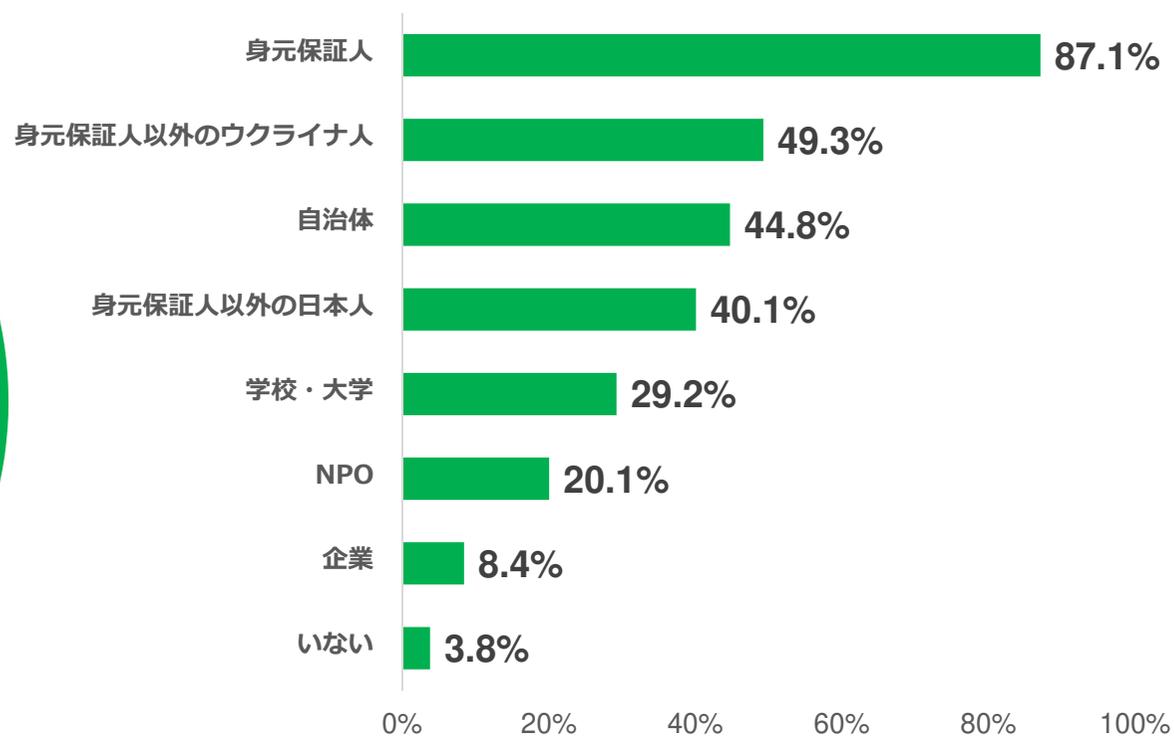


アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## 身元保証人にサポートする余裕があるか



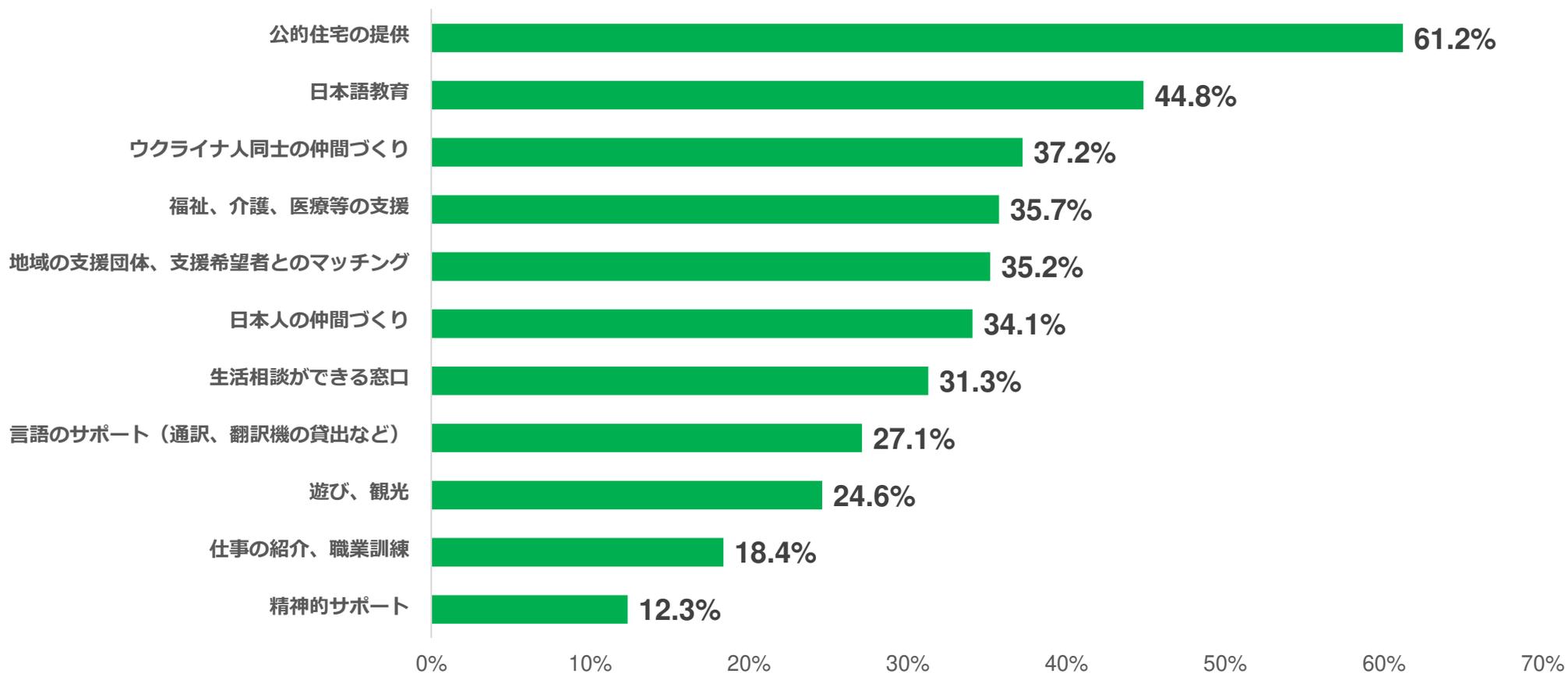
## 困ったときに相談できる存在（複数回答）



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## アンケート結果：受けている支援

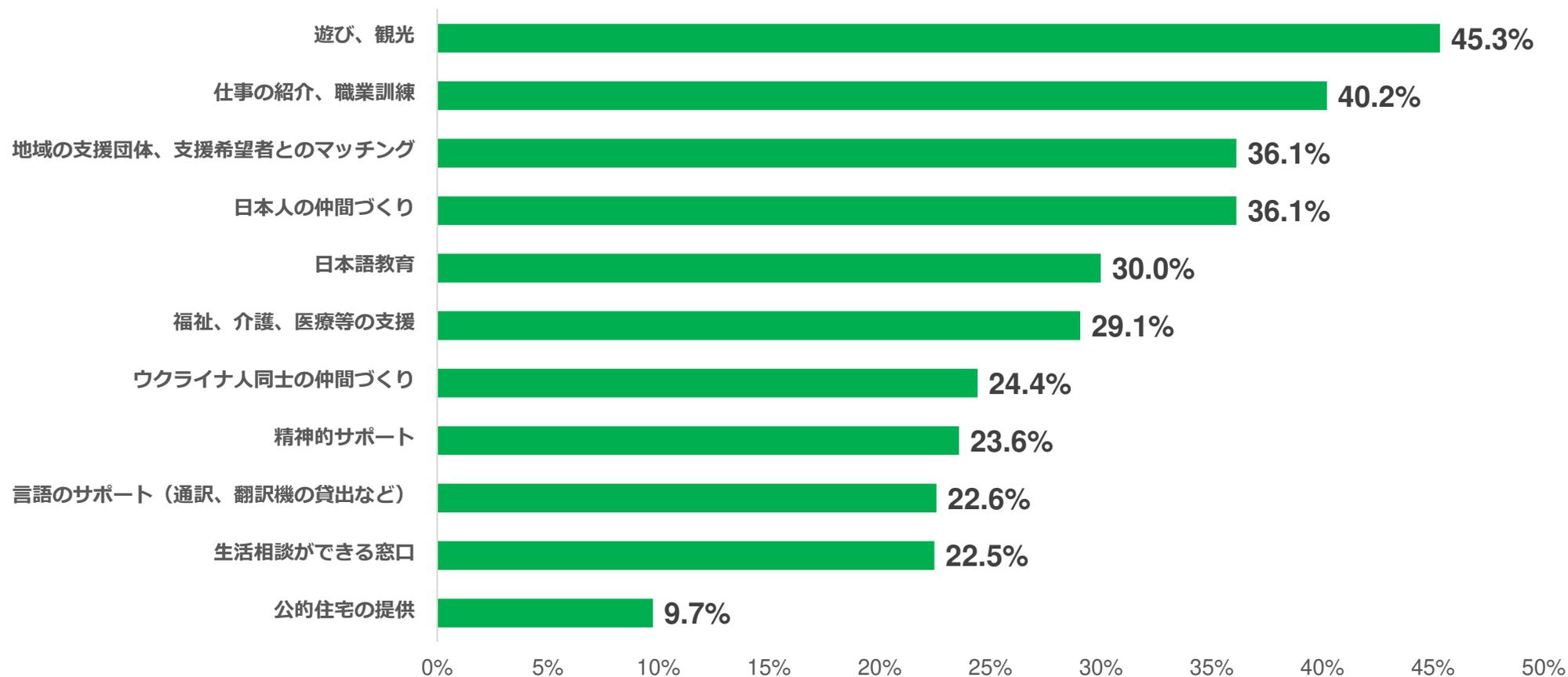
### 給付金、生活物資の提供以外で、受けている支援は何ですか。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## アンケート結果：必要な支援

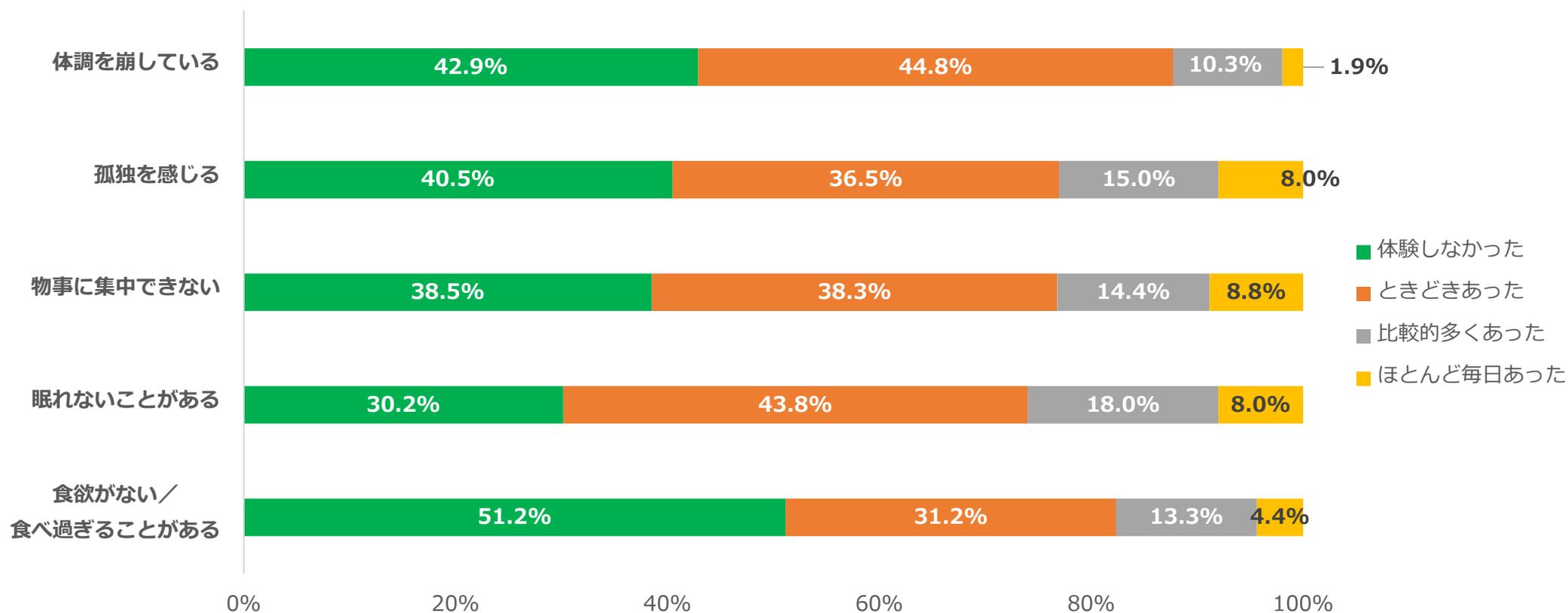
### 給付金、生活物資の提供以外で、必要な支援は何ですか。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## アンケート結果：本人の状態

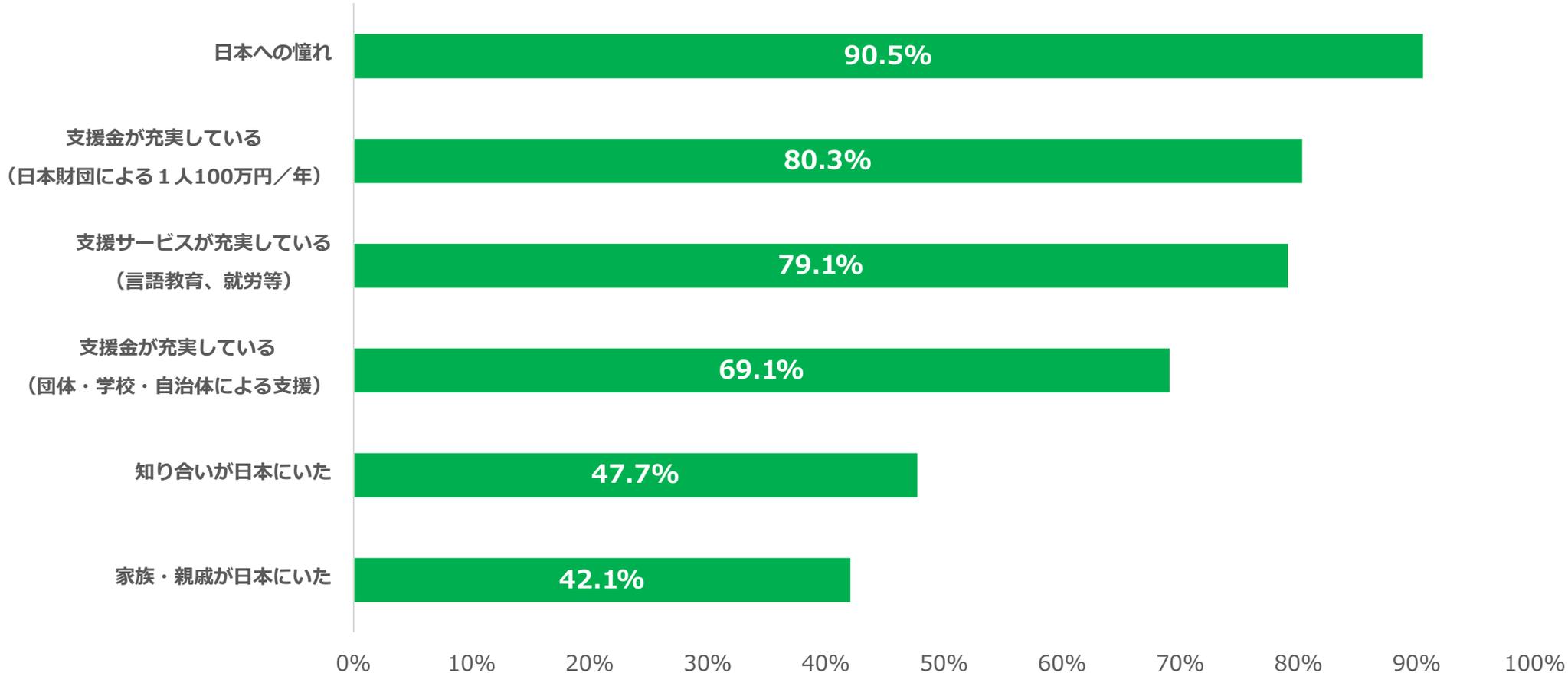
### ここ2週間の状況であてはまるもの



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## アンケート結果：日本を選んだ理由

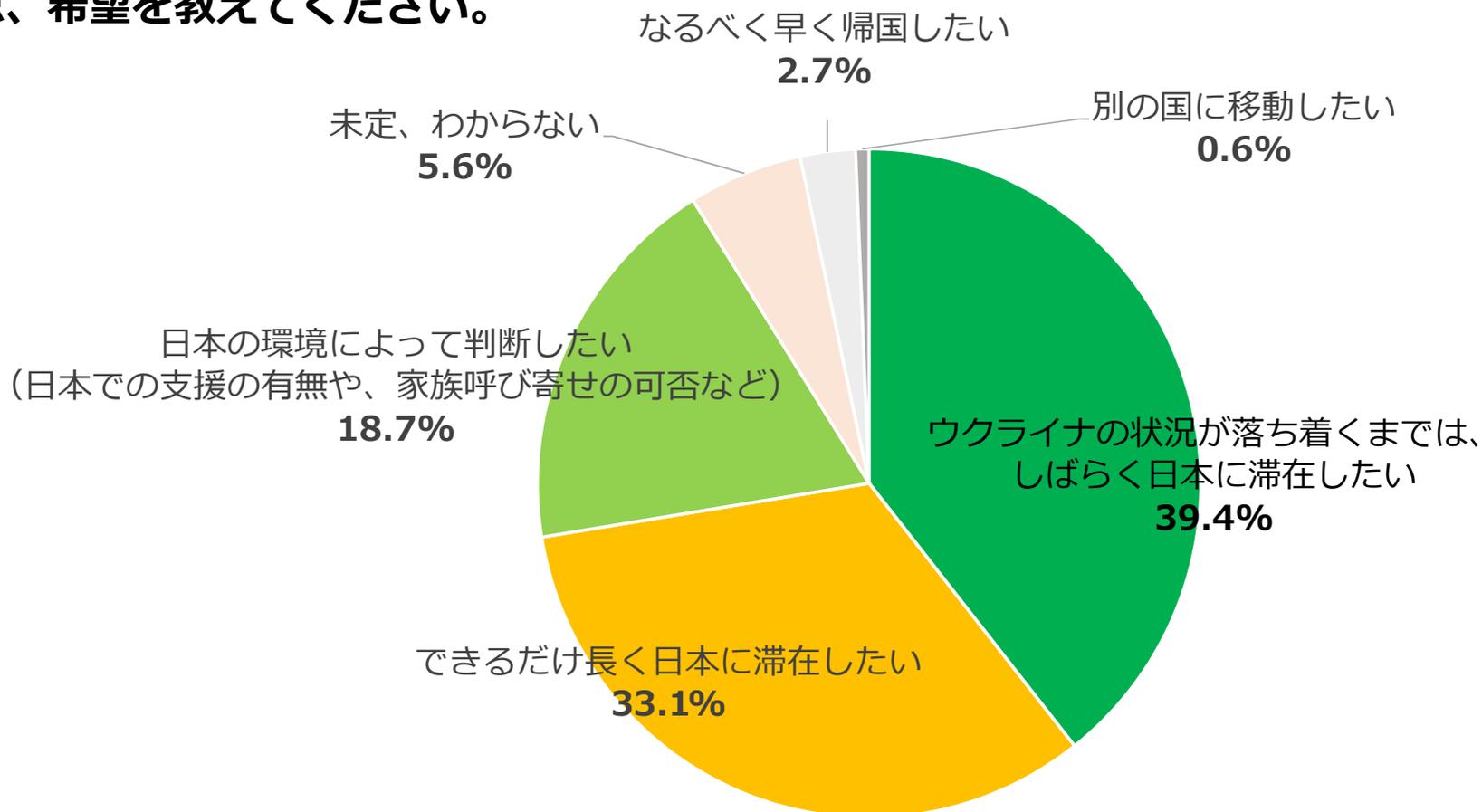
日本を選定した動機について、それぞれ動機の強さを教えてください。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## アンケート結果：帰国意思

### 帰国の意思、希望を教えてください。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民  
アンケート収集数：1,077人

## アンケート結果：コメント抜粋



日本語が分からなかったのが、最初は大変でした。でも今では日本での生活について多くのことを理解できるようになりました。また、14歳の娘は学校で勉強するのが大好きで、たくさんの友達があります。私の娘は日本でとても幸せです。（女性／40代／東京）

世界で最も優れた経済圏の1つである国で勉強する機会が得られたことを非常に嬉しく思います。習得した知識をウクライナの経済の再建と発展に投資したいと考えています。（女性／20代／東京）

私は日本に住むことができるととても幸せです。もちろん、戦争は私の人生と私の状態に大きな影響を与えました。時々気分が悪くなりますが、それでもここに住んでいることは私の人生に起こった最高のことです!（女性／20代／京都）

日本はこの困難な状況で私たちを大いに助けてくれました。誰もが私たちにとっても親切です。住民はウクライナの困難な状況を理解しているので、私たちにくつろいでほしいと思っており、それをうまくやっています。ウクライナの状況が長引けば、日本社会の一員として、責任を持って立派に担ぎたいと思っています。（男性／20代／岐阜）

私の日常生活と日本語学習への支援と参加にとっても感謝しています。（女性／50代／東京）

このような困難な時期に私たちを助けてくれた日本にどれほど感謝しているか、言葉では言い尽くせません。日本のような援助はほとんどないことを誰もが理解しています。日本人の優しさをいつまでも忘れません。（女性／20代／奈良）

戦争のない平和な生活、経済的および医療的支援、日本語を学び、フレンドリーで繊細な人々とのコミュニケーションの機会、私が住んでいる美しい街を楽しむ機会、そして私が住んでいる美しい街を楽しむ機会を与えてくれた日本にとっても感謝しています。  
（女性／60代／兵庫）

決まっていないことや分からないこと、まだ判断できないことがいっぱいあるので不安もありますが、日本への感謝を込めて、いただいた優しさとサポートをシェアしながら、熱心に仕事したり、勉強したり、日本語と日本の文化について新しいことを学んだり続けたいです。（女性／30代／鹿児島）

※ウクライナ語の回答には自動翻訳を使用

## アンケート結果：コメント抜粋（課題）

日本語は理解することも学ぶことも非常に難しいため、コミュニケーションには一定の困難があります。（男性／30代／千葉）

子どもたちの教育でとても悩んでいます。日本の学校に十分慣れたか、また日本で進学ができるかどうか等、とても心配しています。加えて、子どもたちにストレスが溜まっているのではないかとこの点も心配の要因になっています。（女性／40代／大阪）

最近受験や来年の教育機関への入学など、不安やストレスが大きくなっています。（女性／20代／東京）

保証人なしでビザを延長することは困難です。特に学校で勉強するために、ネイティブスピーカーだけで子どもたちのために日本語をゼロから学ぶことは現実的ではありません。（女性／40代／鹿児島）

卒業証書や運転免許証が認められないことは納得できません。ウクライナ人に対する日本人の非常に強力な支援にもかかわらず、私たちはまだ平等に教育を受け、資格のある人々として認識されていません。（女性／40代／大阪）

私が住んでいるのは他の国からの外国人もウクライナ人もいない人口密度の低い都市のため、外国人のための仕事と学業を両立させることができず、同年代の人もいません。ウクライナ人が主催するイベントに参加する機会がなく、友人やサポートを見つける機会もありません。（女性／20代／茨城）

就職して働きたいのですが、子どもを預ける人がいない上に、娘が粉ミルクを飲みません。幼稚園もお金がかかります。（女性／30代／神奈川）

会社員として全力で頑張っ、日本社会に貢献しようとしていますが、外国人として役に立っていないという思いが消えません。自分の居場所はどこにあるかわかりません。（女性／20代／東京）